

第 11 回全日本大学フットサル大会東北大会要項

1 名 称 第 11 回全日本大学フットサル大会東北大会

2 主 催 東北サッカー協会

3 主 管 一般社団法人宮城県サッカー協会

4 協 賛 株式会社 モルテン

5 期 日 2015 年 7 月 11 日（土）12 日（日）

6 会 場 宮城県登米市登米総合体育館

〒987-0702 宮城県登米市登米町寺池目子待井 10 Tel.0220-53-1155

7 参加資格

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「本協会」とする。）に「フットサル 1 種」の種別で加盟登録したチーム（準加盟チームを含む。）に所属している選手により、本大会のために構成されたチーム。
- (2) 第 1 項のチームに所属する単一の大学（大学院生を含む）・短大に在学している選手であること。男女の性別は問わない。
- (3) 外国籍選手は 1 チームあたり 4 名までとする。
- (4) 東北各県大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。
- (5) 引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。

8 参加チームとその数

東北各県代表 1 チームの合計 6 チームとする。

9 競技形式

- (1) 1 次ラウンド：6 チームを 3 チームずつ 2 グループに分けてリーグ戦を行い、各グループの上位 1 チームが決勝戦に進出する。

1 次ラウンドにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち 3、引分け 1、負け 0 とする。

ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム内の対戦成績
- ② 当該チーム内の得失点差
- ③ 当該チーム内の総得点数
- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム

(ア) 警告 1 回 1 ポイント

(イ) 警告 2 回による退場 1 回 3 ポイント

(ウ) 退場 1 回 3 ポイント

(工) 警告 1 回に続く退場 1 回 4 ポイント

⑦ 抽選

※「当該チーム」とは、グループ内で勝点合計が並んだチームのことである。

10 競技規則

大会実施年度の本協会「フットサル競技規則」による。

11 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ

原則として、40m×20mとする。

(2) ボール

試合球：モルテン製 フットサル 4 号ボール

(3) 競技者の数

競技者の数：5 名

交代要員の数：9 名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2 名以内

(4) チーム役員の数

3 名以内

(5) 競技者の用具

① ユニフォーム：

(ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

(エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ) 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。フィールドプレーヤーは 1 番をつけることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該

チームにて負担することとする。

(キ) その他のユニフォームに関する事項については、本協会のユニフォーム規程に則る。

- ② 靴：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。）
- ③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(6) 試合時間

- ① 1次ラウンド:30分間（前後半各15分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは10分間（前半終了から後半開始まで）とする。
- ② 決勝:40分間（前後半各20分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは15分間（前半終了から後半開始まで）とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

- ① 1次ラウンド：引き分け
- ② 決勝：10分間（前後半各5分間）の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

12 懲 罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (2) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 1次ラウンドにおける警告1回及び本大会の終了時での警告の累積は消滅する。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、全国大会に出場する選手にあっては、その大会において、全国大会に出場しない選手にあっては、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

13 参加申込

- (1) 大会参加申込書に記載しうる人員は、1チーム当たり24名(選手20名、役員4名)を上限とし、その選手は各県大会に登録した者とする。ただし、3名を上限に県大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第7項に定める参加資格を満たし、かつ本大会(各県予選大会を含む)において他のチームで出場(登録)していないことを条件とする。
- (2) 申込みは、県大会の大会登録票のコピーに、所属する県サッカー協会の印を捺印したものを提出すること。
- (3) 提出先：〒986-0806

宮城県石巻市開北二丁目 12-37 渡辺秀一 あて（大会事務局）

(4) 申込締切日：2015年6月24日（水）必着

(5) 上記（2）の申込締切日以降の選手並びに役員の変更は認めない。

(6) 上記（2）の申込と同様に大会登録票を minami9@abeam.ocn.ne.jp のアドレス渡辺宛に申込締切日までにメールする。（大会プログラム作成）

14 電子選手証

各チームの登録選手は、本協会発行の電子登録証の写し（写真が登録されたもの）または選手証（写真が貼付されたもの）を、代表者会議会場および試合会場に持参すること。登録証が確認できない場合は、試合に出場できない。

15 参加料

1 チーム 30,000 円とし、当日受付で受領する。

16 表彰

優勝、準優勝のチームに賞状を授与する。

なお、優勝チームは、2015年8月21日（金）～23日（日）、北海道函館アリーナで行なわれる全国大会への出場権を得る。

17 組み合わせ

東北サッカー協会フットサル委員会において抽選の上、決定する。（別紙のとおり）

18 代表者会議、マッチコーディネーションミーティング

チーム代表者、審判員との代表者会議、マッチコーディネーションミーティングを以下の通り行う。チーム代表者（代理可）は、必ず代表者会議、マッチコーディネーションミーティングに出席しなければならない。

<代表者会議>

2015年7月11日（土）9：00より、登米市登米総合体育館内会議室にて実施する。

<マッチコーディネーションミーティング>

1次ラウンド：代表者会議時に併せて実施する。

決勝ラウンド：原則として各試合60分前に会議室にて実施する。

19 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

20 負傷対応

大会中のケガ等については、チームの責任で対処すること。主管協会は、一切の責任を負わない。また、大会に参加する選手は、必ず保険証または保険証のコピーを持参すること。

21 その他

(1) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止となった場合には、その帰責事由のあるチームは、0対5またはその時点のスコアがそれ以上あればそのスコアで敗戦したものとみなす。

- (2) ピッチレベルでの飲料は水のみとし、ベンチ部分のシート上でのみ飲水を認める。ピッチ内での飲水は認めない。
- (3) 体育館の利用規則を遵守すること。

22 問い合わせ先

一般社団法人宮城県サッカー協会フットサル委員会委員長 渡辺秀一

TEL 090-4312-9007 (携帯) FAX 0225-94-0030 (自宅)

E-mail minami9@abeam.ocn.ne.jp

※ 宿泊及び弁当については、各チームでの対応となります。